

活動報告書

団体名	もばら街育プロジェクト
実施事業	「Charity NEGI Matsuri(チャリティねぎまつり)」に合わせた台風 15 号・19 号及び 10.25 豪雨災害で 被害を受けた農業生産者の被災状況を伝える写真展を開催
実施期間	2020 年 1 月 11 日～1 月 31 日
助成金額	100,000 円

実施した事業の内容・成果

<実施内容>

1 月 13 日(月・祝)に開催した「チャリティねぎまつり」に併せて、1 月 10 日(金)から 1 月 31 日(金)まで、茂原ショッピングプラザアスモにおいて、ネギ農家をはじめとする農業生産者の被災状況を伝えるパネル写真を展示しました。

<実施詳細>

チャリティねぎまつり当日に、イベント会場内に写真を展示するとともに、地元の特産品である「長生ねぎ」を使ったフォトスポットや、農業生産者への応援コメントを「のぼり」に寄せ書きするブースを設置しました。茂原市農政課や JA 長生など、多くの関係者の協力を得て、茂原市の田中市長、豊田副市長からも直筆の寄せ書きをいただきました。田中市長からは、チャリティねぎまつり当日に来賓あいさつもいただきました。多くの応援コメントが寄せ書きされた「のぼり」は、後日ねぎの出荷場に展示して、多くの農業生産者に見ていただきました。これら一連のやりとりを動画に収録し、消費者からの応援メッセージと、それを受け取った農業生産者の反応を簡潔にビデオにまとめ、広く公開することにより、基金を活用して実施した事業により復興の機運が高まったこと、消費者と農業生産者の心のつながりが育まれたことの成果の周知を図ることとしました。

<成果>

チャリティねぎまつり当日は、天候にも恵まれ、300 名を超える多くの消費者が来場しました。設置した募金箱には、総額 52,185 円の義援金が集まり、全額を後日茂原市の田中市長に寄附しました。被災状況を伝える写真展については、延べ 20 日間展示を行い、多くの消費者に視覚的に事実を伝えることができました。想定 300 名以上の寄せ書きがしたためられたのぼりについては、ねぎの出荷場に展示し、約 40 軒の農業生産者に見てもらうことができました。農業生産者からは、「やっぱりうれしい」、「また頑張って作ります」などの喜びの声が寄せられ、被災した農業生産者の復興に資することができました。

活動の様子



決算報告

収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		100,000
その他	団体から拠出	41,300
収入合計		141,300円

支出

費目	算出根拠	金額(円)
装飾代	フォトスポット一式	10,000
備品借用費	写真展用備品一式	20,000
印刷製本費	被災状況写真印刷費 50円×66枚	3,300
会場使用料	4,400×20日	88,000
映像制作費	動画一式	20,000
支出合計		141,300円

寄付者へのメッセージ

千葉県内をはじめ、全国からご寄付いただいた皆様の「被災者が一日も早く安心できる暮らしが取り戻せるように」という優しさ、温かいお気持ちを、被災した農業生産者と消費者の「心の交流」のために、ありがたく使わせていただきました。

おかげさまで、消費者に農業生産者の実情をお知らせすることができ、また、台風等の被害により生産意欲を失いかけた農業生産者が、もう一度立ち上がるための背中を後押しすることができたと考えております。

ぜひ、寄付者の皆様にも、何かの機会に茂原市名産の「長生ねぎ」を味わっていただけたら幸いです。

今後の活動

もばら街育プロジェクトでは、以前より「もばら夏まつり」や「もばらハロウィンフェスタ」を開催し、子どもたち世代やその保護者の皆さんにイベントを楽しんでいただき、住むことが誇りと思える「わが街」を守り育てて伝える活動を展開してまいりました。

昨年10月は想定外の災害により、ハロウィンフェスタが開催できなくなり、急きょ「チャリティーねぎまつり」を開催することとなりましたが、今後は改めて「夏まつり」や「ハロウィンフェスタ」に注力し、災害から復興して元気を取り戻した姿を市内の子どもたちに、また全国の皆さんにお見せできたらと思います。